

## 継続学習制度（CPDS）について

継続学習制度(以下 CPDS)とは、(一社)全国土木施工管理技士会連合会(以下全国技士会)が運営する制度です。

土木施工管理技士に必要な技術力の向上のために加入者が講習会などで学習をした場合に、学習の記録を全国技士会に登録し、必要な時全国技士会が学習履歴証明書を発行するシステムです。

CPDS の目的は、技術者が自己研鑽の活動を通じて、国民の福祉に役立つ良質な目的物を創造するための技術力と資質の向上を図ることにあります。

CPDS に加入するには特別な資格は必要ありません。対象は個人です。法人で加入ができるのは、特定機能を利用する場合のみです。

CPDS の加入・講習会参加等学習の記録(学習履歴)の登録をするには、(一社)全国土木施工管理技士会連合会のホームページより、インターネットでの申請が必要です。

CPDS は技術者の研鑽を積む姿勢を現すため、技術力を適正に評価する指標としても有効と考えられます。このため多くの行政機関が技術評価項目に CPDS を採用しています。徳島県では、県が発注する工事について採用されています。